

2006年10月5日

報道各位

新日鉱ホールディングス株式会社

### 新日鉱グループ『社史 1986-2005』の発刊について

1. 当社（本社：東京都港区虎ノ門二丁目、社長：高萩光紀）は、このたび、新日鉱グループ創業100周年記念事業の一環として、『社史 1986-2005』を発刊いたしました。
2. 本史は、既刊の『日本鉱業五十年史』『日本鉱業社史 1956-1985』及び『共同石油20年史』に続く当グループの正史であり、1986年4月以降の経営・事業の主な変遷について、その事実関係を体系的に記録・整理したものです。

構成としては、1992年の日鉱金属の日本鉱業からの分離・独立ならびに日本鉱業と共同石油の合併、2002年の持株会社・新日鉱ホールディングス設立など、グループ経営体制の大きな変遷を踏まえ、全体を4編（第1編 日本鉱業と共同石油の時代、第2編 ジャパンエナジーと日鉱金属の時代、第3編 新日鉱グループの時代、第4編 「創業新世紀」を迎えて）に時代区分し、それぞれの時代における中核事業会社及び持株会社の社業の概要を記述しました。

創業100周年記念事業の一環として発刊する社史としては、本史とは別に、本年4月、創業以来の100年にわたる軌跡について、写真を中心として綴った『ビジュアル社史 新日鉱グループの百年 1905-2005』を発刊しております。

3. 本史の概要は、次のとおりです。

(1)発行年月： 2006年5月

(2)題字： 野見山昭彦 新日鉱ホールディングス(株)会長（現相談役）

(3)仕様： 貼箱入り、濃紺クロス張り。B5判。488ページ。

本文用紙は、古紙配合率70%の再生紙を使用。

(4)発行： 新日鉱ホールディングス(株)

(5)制作協力： (株)DNP年史センター

(6)印刷・製本： 大日本印刷(株)

4. 本史の発行部数は2,500部で、今後、取引先、地域社会、業界関係者、図書館等に配布する予定です。また、利便性を考慮し、本史をデータ化（PDF）した上で、社内イントラネットに常時掲示するほか、CD版も作成することとしております。

以上

【お問合せ先】新日鉱ホールディングス(株)

広報担当：太田・池元・花島

03-5573-5124

ご参考：新日鉱グループ創業100周年にかかる主な記念事業

1．社史編纂

『ビジュアル社史 新日鉱グループの百年 1905-2005』（本年4月発刊）

『社史1986-2005』（今次〔本年5月〕発刊）

2．記念映像制作

「大煙突への旅」（日立の大煙突についての物語。約19分。昨年10月完成。）

「軌跡：100年」（新日鉱グループの100年の軌跡。約16分。本年4月完成。）

3．企業博物館「日鉱記念館」（茨城県日立市）の改装リニューアル

新日鉱グループ100年の歴史、鉱山の暮らし、日立の大煙突などのコーナーを充実（昨年10月実施）

4．創業の地・日立市にかかわる事業

新日鉱ホールディングス全役員による日立鉱山山神社での奉告祭（昨年12月実施）

当社・清水社長（現会長）の「日立の産業生誕百周年記念講演会」開催（第13回世界地方都市十字路会議実行委員会主催。昨年10月実施。）

日立市での「日立鉱山創業100周年記念祝賀会」開催（本年4月開催）

日立市への寄附（日立市の環境教育に資するもの。本年4月実施。）

5．文春文庫『ある町の高い煙突』（新田次郎著）の復刊（本年1月実施）

添付資料：「社史1986-2005」写真

